



黒岩 芽生さん（東又小出身）
 【高知ペットビジネス専門学校生】
 トリマーの技術とカフェ半平で
 学んだ接客力で、人を笑顔に！

ペット専門の美容師「トリマー」を目指し、専門学校に通う黒岩さん。きっかけは、小学生の時の自由研究。「トリマーの手でかわいくなっていくワンちゃん。それを見て、喜ぶ飼い主さんの姿があまりに印象的で」と笑う黒岩さん。その後もずっと笑顔で対応してくれます。

その笑顔とコミュニケーションのうまさは、高校2年の時から続いている「古民家カフェ半平」でのバイト経験で培われたもの。スタッフやお客さまからの信頼も厚い黒岩さん。「トリマーの仕事は、犬がしゃべれない分、飼い主さんとのコミュニケーションが重要なんです。ここは、お客さまとの距離が近い分、濃い接客を学べました」と振り返ります。

この春、県内のペットショップでトリマーとしての第一歩を踏み出す黒岩さん。将来、自分のトリミングサロンをオープンさせ、「飼い主さんを笑顔に、そして元気にしたい」と満面の笑顔で語ってくれました。



芝 渉さん（田野々小出身）

【四万十清流消防署 勤務】

救急救命士として、地域の若者として、この町に恩返しを！



現在、四万十清流消防署西分署に勤務する芝さん。中学2年の時に、下津井にある祖父の実家が火災に遭ったそうで、それがきっかけとなり消防士を目指すように。「助けてもらった分、恩返しをしたいというか…」とはにかむ芝さん。

学生時代はバレーに青春を捧げ、中学から高知市内の強豪校へ進学し、全国の舞台も経験。そんな芝さんは今、四万十町に戻り消防士となり、仕事面以外でも地域に貢献しています。祖父母が暮らす下津井地区の青年団に入り、地域行事に参加するなど、地域の若者として活躍しています。



これからは、より専門的に救急救命処置が行える「救急救命士」を目指し、「人の命を救いたい」と意欲を見せる一方で、「地域には若者が少ないから、地域活動にも参加して地域をもっと活気づけたい」と思いを話してくれました。

Interview!

それぞれの道に進む若者たち。

この20年の出会いと経験を胸に、未来へ羽ばたけ！

二十歳の節目を迎えた
 4名の皆さんに、「今の気持ち」を
 聞いてきました。



杉本 吟我さん（昭和一小出身）

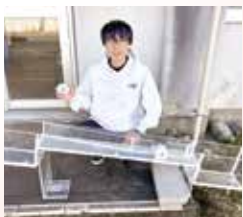
【高知工業高等専門学校生】

離れて気付いた故郷の良さ。
 自分の技術でこの町に貢献を！

ソーシャルデザイン工学科のエネルギー環境コースで、水車形状の発電効率について研究に励む杉本さん。2年生の時には、全国にある10校の高専の学生たちと共同開発した超小型人工衛星が、イプシロンロケットで宇宙へ打ち上げられたことも話題に。

そんな杉本さんですが、南国市にある学生寮から毎週実家に帰ってきているそうで、その理由は「ご飯がうまいから」。家を出て「実家の米のうまさ」や「川の美しさ」に初めて気付いた杉本さん。その一方で、どんどん増えていく空き家の状況も気になると言います。

将来は、機械・電気系の仕事に就きたいそうで、人口減少が進む四万十町でも、「例えば農業用水路で水力発電し、注目を集められる場所が作れたら。自分の研究を活かした技術で、この町に貢献ができればいいですね」と頼もしく語ってくれました。



久保田 果歩さん（田野々小出身）

【くぼかわスポーツクラブ 勤務】

故郷の居心地を実感。スポーツの
 力で、健康で活気あふれる町に！



小学生の時にバレーを始めた久保田さん。父親の勧めもあった、高知市内の高校へ進学。2年生の時には、所属するバレー部が県大会で3位に入賞。この経験が転機となり、スポーツ系の仕事に興味を持つようになったそうです。

そんな久保田さんは今、町内のくぼかわスポーツクラブで臨時職員として働いています。「確かに生活面では、市内の方が便利でした。でも、何か落ち着かんかった」と当時を振り返ります。地元には、幼なじみや友人がたくさんいて、気の合う仲間とバレーチームを作って練習したり遊んだり。「町内の方が気持ちりが楽やし、楽しい」と笑顔の久保田さん。



正職員を目指す一方で、少子高齢化でスポーツをする人口が減少していることも気になるようで、「桜マラソンなどを通して、健康で活気ある町づくりのお手伝いができれば」と話してくれました。

一生に一度の特別な日

はじける**笑顔**と
 あふれる**感謝**！



YouTube

掲載できなかった写真や
 当日の様子を、四万十町
 公式ユーチューブで配信中！

▶ 四万十町
 公式ユーチューブ

